

授業科目名	担当教員名	授業実施日	※
学問の面白さを知ら	近藤 孝弘	5月22日(火)	
学 生 番 号	学 部 ・ 学 科	学 年	氏 名
17070107-7	医学部 保健学科 放射線専攻	1年	高木 光希

境界を越える歴史教育 - 戦後ドイツの取り組み -

境界線は、2つの種類があった。1つは国家による境界線、もう1つは

国内政治による境界線。これらには、やっかいな問題がある。

前者の境界線の問題は、国家間、例えば「日本と中国、中国と韓国」の

歴史教育がすいぶん違うことだ。~~東アジアでも東南アジアでも~~これは

日本のような他国向けの問題ではない、と言う。後者のほう、国内だけでも

公的な歴史見解を批判する政治家がいるということだ。このようなことは

教育とは無関係ではなかった。教育^の定義に学校という文字はない。

社会科学など、いろいろな学問とつながっていることがわかり、歴史教育は

大変重要なことだと思った。ドイツでは、他国の歴史の分析をしている。

傾いた歴史観を客観的な視点から見て修正するためだ。

これから、大切なのは、相手を言い負かすことではない。

自分の考えを説明し、理解してもらい、開かれたものにする

ことを感じた。歴史^とは、変化やちがいを知ること、という

言葉が、とても印象に残っています。